

御池大橋～三条大橋間の右岸高水敷整備について

【施工前】



【パースによる検討】



【施工後】



【設計の考え方】

- ・通行者等の安全な離合等を確保するため、通路幅員を3.5m以上とする。
- ・鴨川を眺める人達がゆったりと散策・休憩できるよう、川縁と通路との離隔を確保。
- ・足にやさしい土系舗装。色調にも配慮。



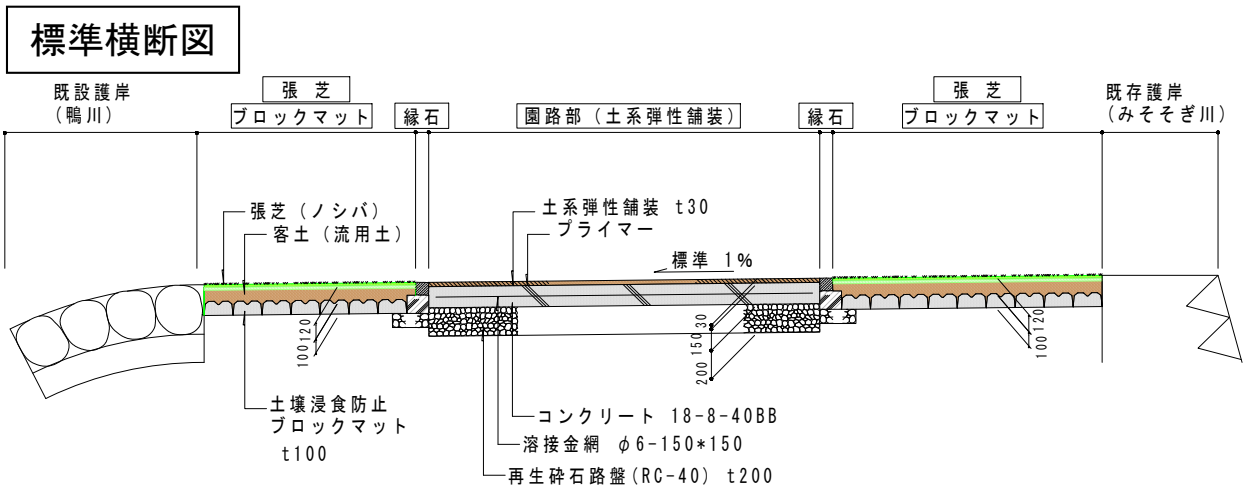
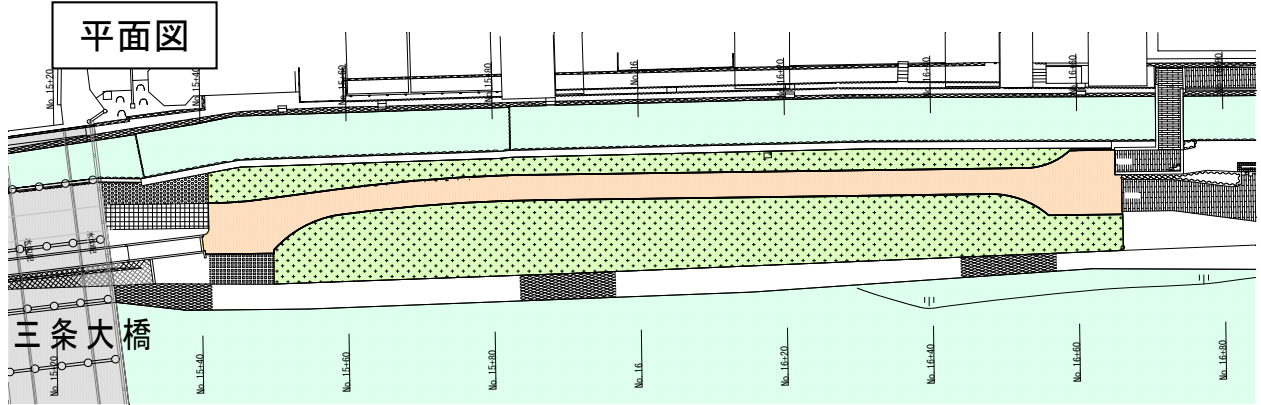
弾性真砂土舗装



舗装色に合わせた縁石

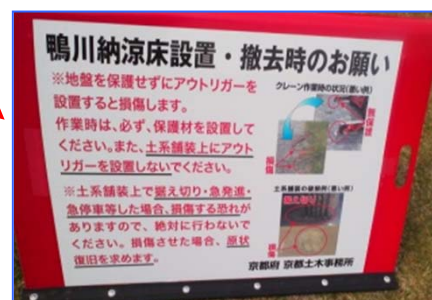
【事業内容】

整備延長 140m
 整備期間 平成22年10月26日 ~ 平成23年3月10日
 事業費 約50百万円
 工種 土系舗装540m², 張芝工1390m², ブロックマット1390m²



【維持管理】

良好な状態を保つため、関係者の協力が必要
 (納涼床設置・撤去時のクレーン脚部の養生など)



鴨川御池大橋～三条大橋高水敷整備に関する利用者に対するアンケート【集計結果】

調査場所：御池大橋～三条大橋間 右岸高水敷

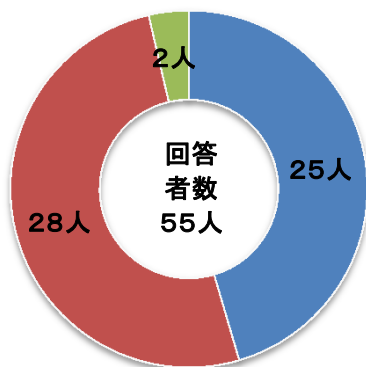
調査日：平成23年6月21日(火)

調査時間：13時30分～16時30分

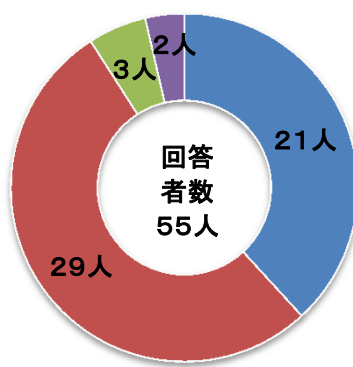
調査実施者：京都府職員

■御池大橋～三条大橋間の整備

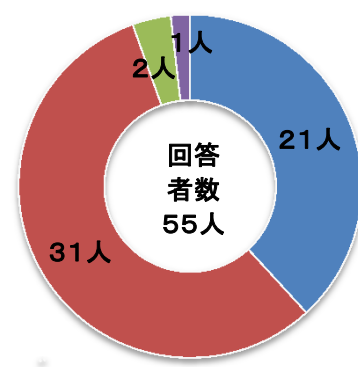
Q1. 全体の印象について



Q2. 土系の舗装について



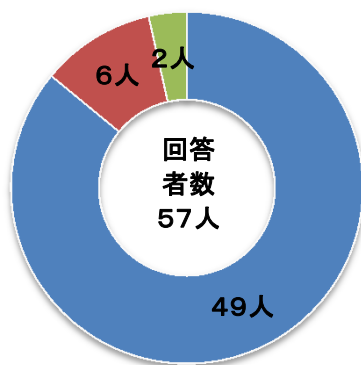
Q3. 芝生による緑化について



■ 大変良い ■ 良い ■ 普通 ■ あまり良くない ■ 良くない

■三条大橋～四条大橋間の整備

Q4. 御池大橋～三条大橋間と同様の整備について



■ 御池大橋～三条大橋と同じが良い
■ 御池大橋～三条大橋と違う方が良い
■ 今のままが良い

■その他の主な意見

(整備に関すること)

- ・土系舗装は歩きやすい。
- ・芝が生えそろっていない。少しハゲている。
- ・芝は座ったり寝そべったりできるのでよい。

(利用に関すること)

- ・ベンチがあった方がよい。
- ・日陰がほしい。
- ・ゴミ箱があった方がよい。

(三条大橋～四条大橋間に関すること)

- ・三条～四条の整備も御池～三条と統一感のある整備をしてほしい。

三条大橋～四条大橋間の右岸高水敷整備について

「水辺の回廊整備・鴨川創造プラン(アクションプラン)」及び「鴨川公共空間整備基本プラン」に基づき、三条大橋～四条大橋間右岸高水敷について、下記のとおり、整備を進めて行くこととしております。

記

【整備の考え方】

○鴨川を眺める人達がゆったりとくつろげるよう、園路はみそそぎ川側に寄せて整備を行う。

【工事施工中の配慮】

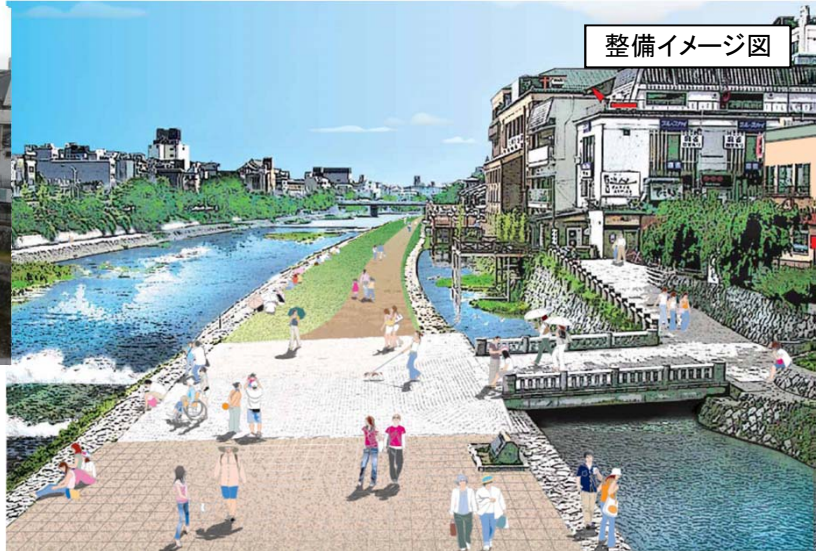
○仮囲いと仮歩道の連続性を利用して、“昔の鴨川写真展”のような通り抜けで見る写真展示を行うことで、利用者が楽しめる場とする

○仮囲いの両端には、これからの鴨川をイメージさせる完成予想図を設置

○京都らしさと落ち着いた雰囲気演出するため、実際の竹を使った手すりを設置



現在の様子



整備イメージ図



昔の鴨川写真展のような
通り抜けで見る写真展示

仮歩道には実際の
竹を使った手すり
を設置



【工事の予定】

○工事期間：平成23年11月下旬から平成24年3月上旬まで

西高瀬川背割堤部の整備について

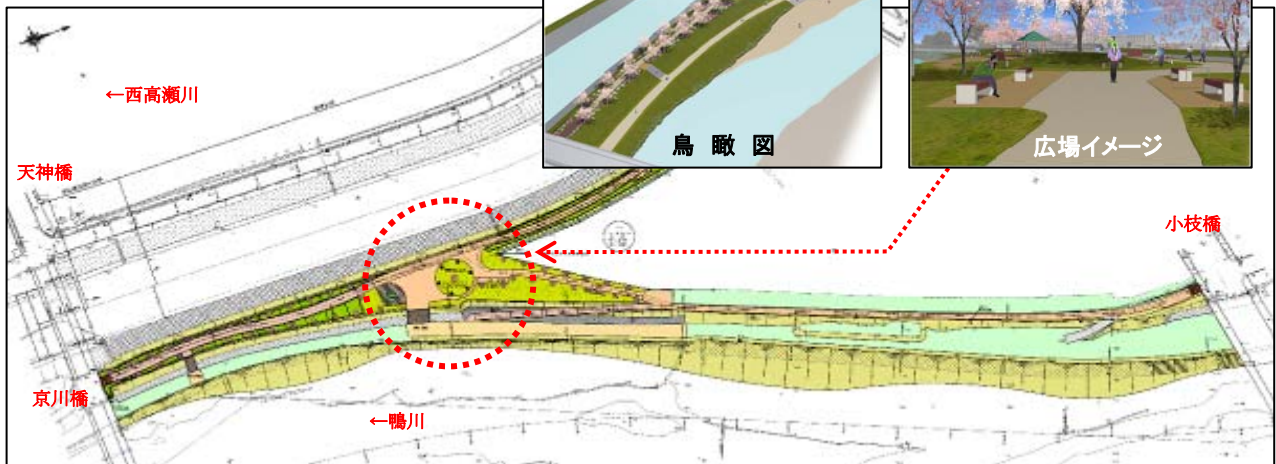
◆ 整備の主な概要

- 体に優しい**土系舗装の園路**、東屋、ベンチ、健康遊具、花壇、植栽
- 植栽は、**様々な色の桜を全体で 50 本程度、開花時期に考慮し植樹し、シンボルとしてシダレザクラを植樹**する。その他の高木として**実のなる樹種**を植樹する。低木は、**四季を感じさせる樹種**を植栽する。

◆ 工事予定

- 2箇年(H23~H24)を目途に整備

◆ 整備イメージ



【様々な色の桜】

シンボル



シダレザクラ



【四季を感じさせる低木】



【実のなるその他の樹木】



京川橋上流護岸工事のようす



小枝橋下流護岸工事のようす

